

## 平成30年度 第3回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成31年3月19日(水) 午後2時00分～3時40分
会場	西公民館 1階 児童室
出席者 (順不同)	大鷲輝国会長(議長)、園川泰子副会長、笹恵子委員、小西政勝委員、山田由紀子委員、中村和弘委員、宮寄直子委員、村川奈津子委員、中捨文子委員、高野眞由美委員、朝倉伸行委員、長谷川昭委員 12名 加納克彦(中央)・岡部次男(東)・星野尚子(西)・坂本旻(南)・鈴木啓文(北)・大山麻美子(下蕨)・井田誠(旭町)各館長、松永祐希課長・藤橋篤係長(生涯学習スポーツ課)、瀬口正浩係長(中央、書記) <合計>22名
欠席者	松原由紀恵委員、土肥仁美委員、小澤俊子委員
主な添付資料	資料1、平成30年度 第2回 公民館運営審議会 会議録(案) 資料2、平成31年度 蕨市教育行政の重点施策(公民館関係) 資料3、平成31年度 公民館 予算案 資料4、平成31年秋の消費税率変更に伴う公民館使用料変更
会議内容 (要旨)	
<p>&lt;公民館運営審議会&gt; 午後2時00分 開会</p> <p>1、開会 ※傍聴希望なし</p> <p>2、あいさつ 大鷲会長開会あいさつ</p> <p>3、議事</p> <p>①前回会議録の承認 資料1『平成30年度 第2回 公民館運営審議会 会議録』(案)をもとに事務局から説明、承認された。</p> <p>②報告事項 (1)平成31年度市教育行政の重点施策(公民館関係)について 資料2『平成31年度 蕨市教育行政の重点施策』に基づき事務局から、公民館関係部分を中心に説明 (中央公民館エレベーター設置工事について) 委員：基本目標①の施策1にある公民館エレベーター設置工事について、中央公民館に設置されるエレベーターが止まるフロアの数はいくつですか？ 事務局：3フロアに止まる。正面ロビーの階とその下の中ロビーの階は高さ的には階段4～5段だが、既存のスロープは傾斜が急。近年の傾向として、施設の大規模改修の際には、可能な限りバリアフリー対応をしている。エレベーターとは直接の関連はないが、正面ロビーにある市民会館のホールへとつながるスロープの傾斜を緩やかにし、手すりを設置する工事も含まれている。なお、エレベーターの定員は10名程度のものが設置される予定。</p>	

委員：机やイスなどが工事区画にあたる所に保管されているが、移設するのか？

事務局：施設敷地内の別の場所への移設を検討している。

委員：工事の期間はどのくらいを予定しているか？

事務局：工事期間は全体で約半年の予定。そのうち7月から3か月間は大きな騒音の出る工事が集中して行われるため、利用の制限を予定している。その間は、月曜日～土曜日の19：00までは利用不可となる。利用可能なのは、月曜～土曜の19：00以降と、日曜日は終日。

委員：本日の会議資料に団体向けの利用制限周知の文書が添えてあるが、使える時期・使えない時期が図指されているとわかりやすかった。

事務局：今後も折に触れて周知する予定なので課題とさせていただきたい。

委員：エレベーター設置場所は既存のコンクリート等を削ることになるのか？

事務局：その予定。工事の大まかな流れは、まずエレベーター設置のスペースを作り、その後その内部で組み立て作業をすることになる。

(重点施策全般について)

委員：印の「◎」はどのような意味か？

事務局：◎は充実させる事業、⊕は新規事業、それ以外は継続事業となっている。

委員：毎年この計画自体は見直しているのか？

事務局：毎年、見直しはするが、大きな計画なので、そう変更はない。社会情勢やニーズ等も見据えながら計画を見直している。

委員：計画の中で、実施したもの・実施していないものといったフォローはあるのか？

事務局：項目によっては理念的なものもあるので、実施している・いないを判別するものとしがないものがあるが、公民館運営審議会では毎年6月頃に行っている会合で、実施事業の報告をしている。例えば子ども向けの事業を実施するという計画の場合、夏休みや冬休みなどに各館で行った事業を掲載した形式での事業報告が、これに対応している。

委員：1年間の活動の成果をみながらということだと思う。また、こういった計画を基に予算計上しているのだと思う。

事務局：施設の修繕など毎年のものもあるが、計画も考慮しながら行っている。この計画と実際の取り組みの直接の連動が見えづらいと思うが。

(コミュニティスクールの設置・夜間中学の設置について)

委員：他部署の内容かもしれないが、基本目標①の施策3のコミュニティ・スクールの設置と夜間中学の設置・運営に係る支援はどういったものか？

事務局：「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」は、蕨市では平成31年度に、塚越をモデルとして東小学校・塚越小学校・東中学校の3学校区を1地区としたPTAや学校応援団などの代表

者等による「学校運営協議会」を設立する。学校運営や学校の課題に対して、広く地域住民などが参画し、地域と学校が目標やビジョンを共有し、一体となってより良い教育の実現を目指すもの。この地区での成果・課題を分析し、他の学校へも段階的に導入していく。

委員：塚越の3校の連絡会は以前からあったが？

事務局：そういった意味でも塚越地区は、より進めやすいのではないかと。蕨では学校と地域との連携は、もともと県内でも早い段階から取り込まれている背景がある。それらが、例えば他市では実施が難しいような、放課後子ども教室の全小学校区での実施や、過去には合宿通学の全地区での実施などにもつながっているものと思う。

次に、「夜間中学」については、これまでは、川口市の公民館を会場に、以前から元教員などにより行われていたことをご存じの方もおいでだと思う。県内初となるもので、2022年に川口市の旧芝園小学校跡地に竣工予定だが、それまでは、この4月に旧川口県陽高等学校の校舎の一部を使用して開校する。様々な理由で義務教育を修了できなかった人や、改めて学びなおしたい人、また、外国籍の人なども対象としている。

委員：これまで川口市を会場にして取り組んできたものを、新年度（平成31年度）に、周辺地区にも広げていくというもので、中学の学習レベルを担う。必ずしも外国の方対象に特化したものではなく、生涯学習につながる部分で学び直しが可能。蕨市独自での開校ではなく、県南の近隣市が連携していくものという考え方である。

## （2）平成31年度公民館予算案について

資料3『平成31年度当初公民館関係予算（案）』に基づき事務局から説明

委員：中央公民館のエレベーター設置工事に伴い、展示パネルを外に設置予定の倉庫に収納とのことだが、1階の集会室や正面ロビーで使用する場合は、運ぶ距離が長くなる。他の場所への保管は難しいか？

事務局：中ロビーに囲いを作って保管することも検討したが、外に倉庫を設置するよりも費用面で高くなることと、その分、中ロビーが狭くなるため、催しに支障がでる可能性がある。なるべく建物に近いところに収納できるようにと考えている。また、中央公民館で保有している展示パネルをすべて使用する機会はあまりなく、他館の古くなったものややりくりなども検討している。全館トータルで枚数管理をしていければと思う。

委員：公民館運営費が前年より増額となっている理由は何か？

事務局：中央公民館のパソコン室のパソコン入替経費の計上が主な理由。

委員：中央公民館と西公民館のエレベーター工事の業者は決まっているのか？

事務局：年度が替わってから入札で決定する。

(3) 平成31年度秋の消費税率変更に伴う公民館使用料変更について  
資料4『平成31年度秋の消費税率変更に伴う公民館使用料変更について』  
に基づき事務局から説明

委員：他市の料金設定や減免などの状況はどうか？

事務局：市によって対応に違いがある。概ね、公のものや、社会教育関係団体には何等かの免除をしているが、免除の額は市によって半額だったり、全額だったり違いがある。

委員：戸田市の公民館の状況は？

事務局：戸田市は福祉センターと併設なため、福祉センターとしての使用料となっている。

委員：現金でその場で支払をしているのか？

事務局：蕨市ではそうしている。

委員：徴収するコストもそれなりにかかると思う。

委員：これまで消費税が転嫁されていないということだが、全額減免の利用がほとんどなので、実質値下がりしているように見える。

委員：現在、社会教育関係団体の認定を受けている団体の人数が規定に満たなくなった場合、認定が取り消されることもあるのか？

事務局：指摘はするが、すぐに認定を取り消すということはない。

委員：人数が少なくなっている団体もあると聞いている。

委員：蕨市の基準では人数の割合の規定はあるのか？

事務局：会員数は10人以上で市内在住在勤下院の割合が7割以上などという規定がある。

事務局：人数については非常に悩ましい部分で、これまで何十年も活動する中で、1人減り、2人減りして今の人数になっている団体が多い。そういった団体に急に有料利用をとというのも、公民館や地域活動を支援する主旨と合致しないと考えている。一方で利用していない方との受益者負担のバランスもある。

委員：認定を受けたくても受けられない団体もある。認定を受ける基準を満たすのは大変だが、受けた後の基準適用は厳しくない。

事務局：以前は2年ごとの更新制だった。現状は団体自ら認定を受けないという意思表示がある場合や、解散でない限り、認定が取り消されることはほぼない。社会教育委員会でもこういった話が出ていて、必要書類の提出のない団体については認定の取消をした。

委員：新規に認定を受けるのは難しいが、長年活動している団体は条件を欠いてもそのままいいというのは、新規の団体を育てることにならないと思う。もう少しはっきりとした規定を設けてはと思う。人数が少なくなったのなら、団体自身が会員増に努力することもあってよいと思う。

委員：公民館の稼働率はどの程度か？

事務局：稼働率は算出の方法・設定によっても異なるが、現在の集計では出していない。あくまで感覚としてだが、全体では概ね5割強といったところではないかと感じている。

委員：公民館は使用料を支払えば誰でも借りることができるのか？

事務局：社会教育施設なので、どのような内容でもよいというわけではない。

- 委員：稼働率は上げたいという考えでよいか？
- 事務局：空いているよりはよいが、常に空きがないというのも。
- 委員：利用していて、夜間の利用が減っているように思う。最近は全体的に利用する数が減っているのでは？平成25年度と29年度を比べるとかなり減少しているが、原因は？
- 事務局：平成28年度・29年度は北町と中央の耐震等工事による休館の影響が大きい。工事後も平年並には利用者が戻りきっていない。
- 委員：社会教育関係団体は、高齢者のクラブが減っている印象を受ける。自分自身パソコンの団体で活動しているが、会員の募集をしてみたところ、スマートホンやタブレットを普段利用している人が多く、パソコンの操作を習いたいというケースが少なかった。時代にマッチしていないという理由もあるのでは。ニーズに合っていないクラブは廃止になるケースもあるように思う。

#### 4、その他

##### (公民館利用予約のシステム導入について)

- 事務局：以前よりご意見をいただいている公民館利用予約のシステム導入についてだが、現在、資料収集や整理に向かっている段階。システムがない現状が良いというわけではなく、情報を集めてお示ししていきたい。
- 委員：前回の会合でも伝えたが、予約1件あたりのコストについても示してもらいたい。インターネット予約をやるやらないの議論をする段階は終わっていると捉えている。あとはいつから行うかということ。
- 委員：以前からの課題でもあるので、次回の会合でぜひ提示してもらいたい。

##### (各委員より活動を通しての意見)

- 委員：子どもが主体の団体で活動しているが、利用している館の稼働率は高いと感じている。市内でも各館によって利用する世代も違いがあると思う。
- 委員：蕨は地域の人と行政が一体となって行う活動がやりやすいと感じている。教育的な面からも、クラブの活動を盛り上げていくには小さいまちであることが良い方向に働くと思う。
- 委員：南公民館で実施の文化展に参加したが、地域の方の作品に触れることができよかった。一方で、来ている方の顔ぶれが同じなので、公民館の良さが他の人にも伝わるとよいと思う。
- 委員：公民館の設立主旨などを考えると、稼働率は上げなくてはならないと思う。どうしたら上がるか常に考えてもらいたい。
- 委員：自分自身が関わっている活動団体でも、休館等で長期間活動ができなくなることをきっかけに辞める方が多く出た。幸い生涯学習フェスティバルの体験講座等を通して多くの人に団体へ入ってもらうことはできた。部屋の利用を見てみると、希望が同じ時間帯に重なることが多いように感じる。他市では、一つの部屋を間仕切りして分けて使うことができるところもある。部屋の利用がで

きないことが活動をやめる理由の1つにもなると思う。

一方、若い世代が公民館を利用していない理由として、例えば代表を引き受けるとか、会計を担当するといったことへの抵抗もあるのでは。そういった方が地域に溶け込むようにできるとよい。

また、他市の施設も利用しているので、その状況だが、市によって対応はまちまち。部屋の使用料はかからなくとも、コンセントを使うのに料金がかかるケースなどもある。

委員：自分に役立つことなら習いたいという人が増えているように思う。そうした中で、ニーズが減っていくクラブもでてくると思う。クラブとして存続に向けて何か企画を考えていくことが必要と感じている。

委員：30年来活動をしているが、毎週集まってる活動ではないので、違う点もあるかもしれないが、80歳代から20歳代まで一緒に活動している。催しを行うにしても、構えず一緒にやってくれる人が増えるとよいと思い、声掛けをするようにしている。そういった活動のなかで、部屋の利用が必要になることもある。一概に早いもの順に部屋が埋まってしまうのでは済まないこともあると思う。また、人数が減っている団体もあるという話が出ているが、生涯学習推進事業がこういったことに役立つとよいと思う。次回は講演会形式とのことだが、内容はどのようなになるのか？

事務局：事業の趣旨の捉え方にもよるが、新しい利用者呼び込むことをテーマにするか、会員減に悩むクラブの対応策をテーマにするか、などにより、設定やPRの方法なども違ってくる。どちらも、館としては取り組みが必要なテーマであり、現段階ではしぼりきれしていない。

委員：普段、公民館の事業や講座は、通知やチラシを通して知ることができているが、公民館の運営については今日初めて知ることも多かった。委員としてすぐに公民館の運営に意見を申し上げることは難しいが、協力していきたいと考えている。

午後3時40分 園川副会長 閉会あいさつ、閉会